



特集

くわなでチャレンジ

子どもの “やってみたい”を育む

職業体験は「好き」や「得意」を見つけ未来を広げる貴重な機会。市で開催されている「ワクワクわーく」や「子どもの夢・未来創造事業」はその舞台となり、多くの子どもたちが新たな自分に出会っています。挑戦を通じて可能性を広げる、豊かな学びの場を特集します。

問 この記事については秘書広報課 (☎24-1492 FAX 24-1119)



令和8年度から、
シリーズ「くわなでチャレンジ」が
スタートします！

子どもからシニアまで「いつでも、いくつでもチャレンジできる」。そのきっかけの場が桑名市にあります。本シリーズでは、多様な世代が革新的なアイデアで課題を解決し、まちに新たな価値を生む軌跡をたどります。一歩踏み出した市民の挑戦を、明日の豊かなまちづくりへとつなげていきます。

- 02 キラリ★くわな人
- 03 **特集** くわなでチャレンジ
子どもの“やってみたい”を育む
- 06 令和8年度検診・健診のご案内
がん検診申込書
- 09 令和9年度採用桑名市職員募集
- 10 マイナンバーカードを受給資格証として利用可能になります!!
高齢者带状疱疹予防接種についてのお知らせ
- 11 令和7年の出生数 9年ぶりの増加!
博物館の年間展覧会スケジュール
- 12 桑名市総合医療センター通信、くわな防災教室
- 13 耳より情報、みんなの掲示板

- 14 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 15 くわなINFO
- 22 無料相談
- 23 地域情報サイト My KuWanna
市長まちなか探索
- 24 私の推しショット

今月の表紙

お仕事体験イベント「つながる☆多ワクワクわーく」で保育士体験をしている様子が、絵本の読み聞かせやおむつ交換の体験などをしていました。



キラリ★くわな人



作家
川瀬 美保 さん

桑名市出身の川瀬さんは第15回アガサ・クリスティー賞において『ポスボラス 死者たちの海峡』で大賞を受賞されました。受賞の知らせを受けた瞬間「人生で初めて文字通り腰が抜けた」と川瀬さん。幼少期から憧れていた出版社が主催する賞での受賞は夢のような出来事だったと教えてくれました。

「こうなったら、自分が会いたい登場人物は自分で作るしかない」と考えたことが作家になった一番のきっかけだと話してくれました。

受賞作品について尋ねると「トルコのイスタンブールでの経験から生まれたこの作品は、異国で支え合う人々への感謝の気持ちを込めたものです。日本人とトルコ人の深く固い友情と信頼関係はとても美しく、ミステリーの形で書き残したいという思いがこの作品につながりました」と教えてくれました。

今後の目標については「本作の刑事トリオに活躍の舞台を与えて、彼らを検査官としても人間としても成長させること。そのためには、私自身が努力して、人として成長しなければなりません」と意気込みを話してくれました。

今後の「くわなでチャレンジ」シリーズでは、多様な世代が革新的なアイデアで課題を解決し、まちに新たな価値を生む軌跡をたどります。一歩踏み出した市民の挑戦を、明日の豊かなまちづくりへとつなげていきます。



受賞作品
「ポスボラス 死者たちの海峡」
(早川書房)



出前授業



ごみ収集を学ぼう!
小学校環境学習

模擬選挙体験、議員がお邪魔
します!議会ってなに?

プログラム

- 模擬選挙体験、議員がお邪魔します!議会ってなに?
- 『保健師』の仕事のをぞいてみよう!~妊婦さん・赤ちゃん編~
- 桑名市の水道水ができるまで・水道の歴史
- 市役所の仕事教えます! など全40プログラム

本物の選挙箱まであって18歳になって投票しに行くのが楽しみになった。投票箱に多くの鍵があったのが驚いた。

子どもの感想

外部講師



【キャリア教育・宇宙】
和田直樹先生

【漫才×プレゼン×
コミュニケーション】
ピン芸人かける先生

プログラム

- 【福祉(聴覚障害)・多様な学びや体験】聴覚障害のある私が、弱みを強みに変えて人生を楽しんでいる秘訣を伝授!
- 【キャリア教育・宇宙】「自分ごと」で宇宙にワクワクしよう!好奇心を刺激しよう!
- 【漫才×プレゼン×コミュニケーション】プロの芸人から学ぶ!自己表現の講座 など全10プログラム

近所のコンビニで買える“からあげ”が宇宙食になっていると聞いてびっくりした!宇宙を身近に感じた。

子どもの感想

社会見学



庁舎見学
(消防本部)

ごみ処理について
学ぼう!リサイクルの森

プログラム

- ごみ処理について学ぼう!リサイクルの森
- 上野浄水場を見学しよう!
- 石取祭のれきしと石取会館(京町)
- 諸戸水道貯水遺構
- 議場へようこそ!議会体験 など全14プログラム

普段の授業では教えられないことを子どもたちに教えることができた。いろんな体験メニューを考えていただいているので、授業や興味に合わせて選択できるのがとてもよい。桑名市の全学校が平等に機会を与えていただけたのが、とてもありがたい。

先生の感想

市役所・企業・外部人材が連携
桑名市の新たな教育体験

令和7年度から、小中学生の体験の機会を増やし、子どもの将来の選択肢を広げるために事業を開始しました。企業や社会で活躍する外部人材と連携。さまざまなキャリアを持つ講師による出前授業や社会見学など、小学校や学童、ふれあい教室などを対象に多彩な社会体験メニューを展開しています。開始以降、約6000人の子どもたちに体験してもらいました。今後も地域全体で、子どもたちが主体的に未来を設計できるよう支援します。

保健師



血圧や脈拍を測定。
赤ちゃんの抱っこも練習したよ!

塗装業



コツを掴んでムラなく
ペンキを塗れました

消防士



防火服は分厚かった!
消防庁舎も見学したよ

銀行員



醤油職人



警察官



保育士



他にもこんなブースも



くわな子ども食堂
わくわくフレンズ



子育てを支援する居場所づくりを行っているボランティア団体。毎月1回の「子ども食堂」のほか乳幼児連れを対象とした「子ども食堂 mini」、「つながる☆ワクワクわーく」などのイベントを開催しています。



貰ったコインでお買い物をしたり、ワークショップに参加したりできます。



体験終了後、お給料がもらえます。

お仕事体験の流れ



事前予約をしたお仕事ブースで体験。

自分の「好き」が未来に変わる!
お仕事体験イベントレポート

1月31日、市内の2会場でお仕事体験イベント「つながる☆ワクワクわーく」が開催。子育て支援の多世代交流の場作りを行う「くわな子ども食堂わくわくフレンズ」と市の共催イベントです。会場には消防士や保育士、警察官、ホテルスタッフなど地域の多彩な23職種のブースが集結。子どもたちは真剣に業務を学び、体験後に渡されるお給料(コイン)を使って買い物やワークショップを楽しむ「社会の循環」も体験しました。働く喜びや大人との交流を通じ、自分の可能性に目を輝かせる姿が見られた本イベント。子どもたちが自身の将来を思い描き、チャレンジする姿をたっぷりレポートします。